

GI 第2回プロハンターチャンピオンシップ

～『じゃくねんそう やきにく』優勝までの道のり～

2022年12月04日

第三部『スタートライン』

心臓が痛い。

明らかな鼓動の早まりを感じながら迎えた【中間発表】。各問題の解説を横目に僕は自分たちのことを考えるので精一杯だった。

あの時『撤退』したのは本当に正しい判断だったのだろうか。周りのチームはどれだけキーワードを稼いでいるんだろう。僕たちは...勝てるのだろうか？

今考えると「絶対に勝つ」「勝ちたい」なんて言ってたやつとはまるで別人のように、負けることを恐れ、怯え、気弱になってしまっていたと思う。そんな時、僕のことを支えてくれたのは、他でもない『チームメンバー』だった。

中間発表が始まるやいなや、「きっと大丈夫」そう言って声をかけてくれた。自分たちだって絶対に不安なのに、声をかけてくれたんだ。

そんなチームメンバーをみて、僕は【仲間の大切さ】を知ったんだ。

我ながら月並みな表現だとは思うよ。ありきたりで、稚拙な表現だ。だけど、とても大切なことに気付けた、そんな気がした。

迎えた結果発表。自分達のタイムは知ってるから、大事なのは『ミスをしていないか』そして『19点は十分な点数だったのか』だ。

最高獲得キーワード数が発表される。やっぱり『20個』か...問題はこの点数をどれだけのチームが取ってるか、だ。

1位の結果が読み上げられる。20点、違う。

2位の結果が読み上げられる。20点、違う。

3位の結果が...19点！これなら戦える！

自信を取り戻し、自分達のタイムが呼ばれるのを待つ。結果は...『4位』！

思った以上の結果に胸のつかえが取れ、動悸も安静に戻った。良かった、これで【勝てる】。

後のことは正直あんまり詳しく覚えてない。

明日の説明を聴き、少し遅めの晩御飯を取り、明日の作戦会議をした後、気づいたら家に帰っていた。

第四部『二日目』

今回の宝は『15:30には消えてしまう』そうだ。

終了時刻のある周遊クエストを解いてる時と同じ感じだな。ゲームスタートと同時に出発！
駅に向かってる途中で解けるだろ、とたかを括っていた所...まずい。
全くもって解ける気配がしない。

3問あるのに、一問も解けないなんてことある？と思いながら、瑞光橋公園へと向かおうとしたところで思い止まる。そんな簡単にチェックポイントに行けるなんてこと本当にあるのか...？

右の問題を解いたところで気づく。
これは、各地に行って解かなければならない...

ん？なんで急に終わったかって？
ログを書く時間が無かったからだよ。
まあ、結論から伝えよう。
そう、僕たちは敗北した。
浄閑寺の一問に、無限の時間を使って。
それ以上伝えることはない。だって負けたことには変わらないからね。負け惜しみは言わないよ。

また来年。必ず。
今の僕から参加前の僕たちへ

敬具